

開催の目的

2020年4月に観光庁が公表した「観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドライン」を踏まえ、関東運輸局では、令和3年度より「観光地域づくり法人（DMO）意見交換会」（以下意見交換会）を実施することとした。当意見交換会では、各観光地域づくり法人（DMO）間における事業内容や方向性及び優良事例についての情報共有を行い、取組内容の改善や相互の連携の確保に繋げることを目的としている。今年度は、本フォーラムを通じて一層闊達な意見交換やDMO間の緊密な関係構築を図ることにより、ガイドラインの規定に資するよう、各DMO間における事業内容や方向性及び優良事例についての情報共有を行い、取組内容の改善やDMO間の横の連携の確保に繋げることを目指すものとした。

DMOフォーラムの開催概要

■ミーティングパート

開催日：令和6年9月26日（木）

開催場所：草津温泉 ホテルビレッジ「青葉」

参加者：観光広域エリア内のDMO及び自治体
19団体 29名

プログラム：

1. 開会挨拶

- ①主催者挨拶 関東運輸局 観光部長 近藤 光則
- ②受入地域代表挨拶 一般社団法人 草津温泉観光協会
会長 山本 剛史氏

2. 講演

- ①「草津温泉百年の計
ー入込客数400万人の達成に向けてー」
草津町長 黒岩 信忠氏
- ②「DMO経営におけるステークホルダーマネジメントの重要性」
クラブツーリズム(株)地域共創事業部 顧問、
ニューツーリズム研究所 代表 福井 善朗氏

3. ワークショップ（参加者による意見交換）

テーマ「自治体及びDMO間の連携について」

- ①人材面について、②財政面について、③業務面について



挨拶様子 近藤部長



講演様子 黒岩氏

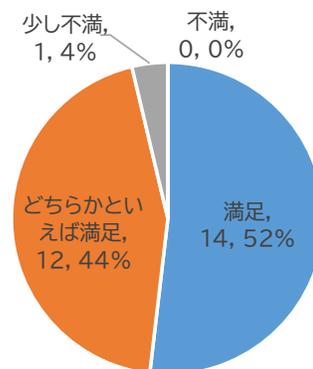


講演様子 福井氏

参加者アンケート結果

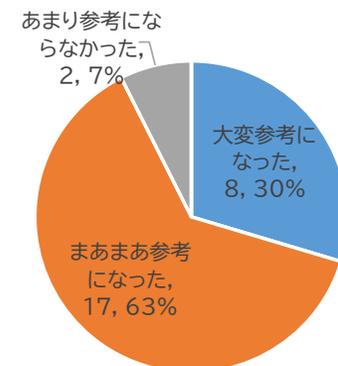
■DMOフォーラム全体の評価

- ・とてもコミュニケーションが取れてよかった。
- ・他のDMOと直接意見交換が出来て有意義でした。
- ・とても勉強になりました。次회가、とても楽しみ。
- ・普段なかなか顔を合わせる機会がないので、このような取り組みは是非、継続してほしい。日頃直接交流がない、地域DMOの方々とは意見交換ができて有意義であった。
- ・他のDMOの方と一緒にワークショップが大変良かった。
- ・とても刺激と学びのあるフォーラムでした。
- ・資料を共有いただくQRコードも、次第のペーパーに掲載いただきたかった。



■ワークショップの評価

- ・他の地域の悩みをきけて励みにもなったし、勉強にもなった。
- ・自主財源、人材確保・育成についてのテーマでもディスカッションしてみたい。
- ・各地の日々の艱難辛苦の状況が肌感覚で実感することができました。
- ・大変良い時間でした。課題点の共有などはとくに。
- ・さまざまな地域のDMOの現状を知ることが出来て、とても良かった。
- ・ワークショップの時間が長いと感じた。



ワークショップ実施結果(主な意見)

■ 1班

- ・ 広域あるいは隣同士で連携する上でさまざまな課題があるが、まずは情報交換をしっかりと行うことが重要。また、周辺地域との連携においては仲良くすることも重要。
- ・ 各団体で自分のコンテンツと魅力を充実させる必要がある。

■ 2班

- ・ 人と人のつながりという交流の方が行いやすい。
- ・ 広域連携については、データを媒体としてつながるという形があり、プロモーションについても広域連携を行っていくことが求められる。

■ 3班

- ・ 財源の問題として、宿泊税や入湯税などの観光税を目的税化する必要がある。
- ・ データ等は県域のDMOでまとめてもらってから市町村単位のDMOに分けるようなことができるとよい。

■ 4班

- ・ 自治体とDMO間の連携としては、重要なのは役割分担だという結論。目指すところは同じなので、自治体とDMOのお互いが覚悟を持って役割分担し、責任を持ってそれを果たしながら取り組んでいく。

■ 5班

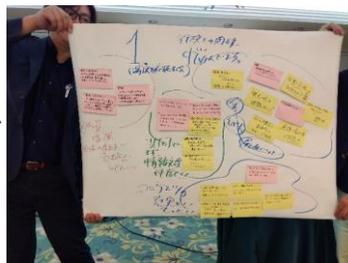
- ・ DMO間の連携してプロモーションなどをもっと行えるような組織づくりができるといい。
- ・ 行政との連携は、行政担当者が数年で変更することで継続性がない、保守的になる場合があるので、行政から出向するような流れがあるとよい。



ワークショップ(全体)



発表(1班)



成果(1班)

エクスカーショ

エクスカーショ概要

日時：令和6年9月27日(金)
場所：湯畑、裏草津、熱乃湯など
行程：

- 10:00 草津温泉バスターミナル 観光案内所前集合
現地視察スタート 湯畑へ移動
- 10:00-11:00①湯畑、裏草津 地蔵など
- 11:00-11:30②熱乃湯の「湯もみと踊り」見学体験
- 11:30 現地解散



湯畑



裏草津



湯もみショー視察



湯もみショー体験

まとめ

- ・ DMO間の交流が深まった機会となったことが参加者から高く評価された。
- ・ DMO同士の交流意欲は高く、次年度以降も継続開催が望まれかつ多くの方が参加できるよう工夫することが望まれる。
- ・ ワークショップでは参加者が活発な意見交換が行われ、課題共有の場になった。
- ・ 次回の開催地を立候補するDMOもあり、DMOの意欲向上につながったと考える。
- ・ 次回開催に向けて、情報共有の行い方など課題を整理した。